

日本語の拗音(ゃ/ゅ/ょ)を伴うオノマトペの形態

金昌男*

(e-mail: cnkim42@hotmail.com)

目次

1. はじめに
 2. 先行研究
 3. 考察対象
 4. 考察結果及び分析
 - 4.1 拗音(ゃ/ゅ/ょ)の語彙数と現れ方
 - 4.2 拗音(ゃ/ゅ/ょ)が現れる形式
 - 4.2.1 「～y(～y～)」形式
 - 4.2.2 「～yt(～y～t)」形式
 - 4.2.3 「～yr(～y～r)」形式
 - 4.2.4 「～yn(～y～n)」形式
 5. まとめ
-

1. はじめに

現代日本語のオノマトペの語形式をみると、「めちゃめちゃ、しゅるしゅる、びしょびしょ」のように拗音(ゃ/ゅ/ょ)を伴うもの、長音(ー)を伴うもの(ちーん、じゃーじゃー、おぎゃーおぎゃー)、促音(っ)を伴うもの(ぶつつ、あっさり、がっかり)、撥音(ん)を伴うもの(がちゃん、しょんぼり、のんびり)、仮名「り」を伴うもの(うんざり、しょんぼり、ぼちゃり)、反復型のもの(すやすや、ごちゃごちゃ、ちょこちょこ)などがある。

本稿では拗音(ゃ/ゅ/ょ)を伴うものを中心に、拗音「ゃ」「ゅ」「ょ」それぞれが現れているオノマトペの語形式と語彙数について考察を行うことにする。

* 金剛大学校, 副教授, 日本語学

2. 先行研究

日本語のオノマトベに関する従来の研究をみると、崔(2005:563)ではオノマトベの具体的なタイプについて以下の23形態を紹介している。(以下の「O」は仮名一文字を、「t」は促音(っ)、「n」は撥音(ん)、「r」は仮名「り」、「-」は長音(ー)を表す。)

O形態、Ot形態、On形態、O-形態、O-t形態、O-n形態、OtOt形態、OnOn形態、O-O-形態、OO形態、OOt形態、OOr形態、OOn形態、OtO形態、OnO形態、OtOr形態、OnOr形態、OOの反復形態、OO変形態Ⅰ、OO変形態Ⅱ、OO変形態Ⅲ、OOnの反復形態、OtOの反復形態

また、石黒(2008:25-26)ではオノマトベの形態的な特徴について以下のように述べている。

オノマトベらしくするためには、それらしい形にする必要があります。オノマトベらしい形とは、たとえば以下のようなものです。

- ・Oっ … 「さっ」 「きっ」 「ぶっ」
- ・On … 「ぼん」 「つん」 「でん」
- ・OOっ … 「ぼきっ」 「がくっ」 「ばちっ」
- ・OOr … 「ぼたり」 「ぼとり」 「さらり」
- ・OOn … 「ごろん」 「ぼきん」 「どかん」
- ・反復形 … 「がんがん」 「からんからん」 「ばちやばちや」
- ・OっOr … 「びっしり」 「すっぽり」 「きっちり」
- ・OnOr … 「こんがり」 「ぼんやり」 「にんまり」

Oに入るそれぞれの音も、子音がカ行・サ行・タ行・ナ行・ハ行・マ行・ヤ行・ラ行・ワ行のどの行か、清音か濁音か半濁音か、母音がア段・イ段・ウ段・エ段・オ段のどの段かによって、作られるオノマトベのイメージはある程度決まってきます。

さらに、李(2005:412-416)では『漢語形容動詞辞典』に見られる漢語の疊語592個のオノマトベを音型別に七つに分類している。その七つの音型とそれぞれに該当する一部の例と語彙数を表にまとめると以下ようになる。

順位	音型	例	語数(%)
1	甲ウ甲ウ	オウオウ(央央)、オウオウ(応応)、キョウキョウ(兢兢)、クウクウ(空空)、コウコウ(皓皓)、コウコウ(高高)、シュウシュウ(習習)…、	197語 (33.3%)
2	甲ン甲ン	アンアン(安安)、エンエン(延延)、オンオン(温温)、カンカン(閑閑)、ギンギン(吟吟)、ケンケン(乾乾)、コンコン(懇懇)、シンシン(新新)…、	159語 (26.9%)

3	甲イ甲イ	アイアイ(哀哀)、エイエイ(英英)、カイカイ(快快)、ケイケイ(軽軽)、サイサイ(崔崔)、スイスイ(垂垂)、セイセイ(晟晟)、テイテイ(亭亭)…、	70語 (11.8%)
4	甲ク甲ク (甲ッ甲ク)	アクアク(啞啞)、カクカク/カックカク(格格)、サクサク(削削)、シャクシャク(灼灼)、ソクソク(促促)、ダクダク(諾諾)、バクバク(莫莫)…、	59語 (10.0%)
5	甲甲	イイ(依依)、ガガ(娥娥)、キキ(奇奇)、クク(区区)、シシ(糸糸)、チチ(遅遅)、ヒヒ(比比)…、	57語 (9.6%)
6	甲ツ甲ツ (甲ッ甲ツ)	アツアツ(軋軋)、ウツウツ(蔚蔚)、カツカツ(渴渴)、コツコツ(忽忽)、セツセツ(切切)…、	31語 (5.2%)
7	甲キ甲キ	エキエキ(役役)、セキセキ(蹟蹟)、テキテキ(適適)、ヘキヘキ(碧碧)、レキレキ(歴歴)…、	19語 (3.2%)
計			592語

上記の他にも、日本語のオノマトペの形態的な特徴を述べている研究に中里(2008)、金(2011)があり、またオノマトペと助詞との共起について扱っているものに崔(2005)、峯(2007)、田守(2008)がある。さらにオノマトペと日本語教育(教材)に関して言及している研究には守山(2006)、秋元(2007)、有賀(2007)、葛西(2007)、三上(2007)があり、また日本語と韓国語のオノマトペの対照研究には康(1999)、松本(2006)、伊東(2007)などがある。

以上、オノマトペに関する従来の研究を見てきたが、先行研究においては拗音(ゃ/ゅ/ょ)を伴うオノマトペについて詳細に述べているものは見つからなかった。そこで、本稿では拗音(ゃ/ゅ/ょ)を伴うオノマトペについて考察を行うことにする。

3. 考察対象

本稿で考察対象とするオノマトペは山口(2003)『暮らしのことは擬音・擬態語辞典』¹⁾に載せられている2,033語の中から拗音(ゃ/ゅ/ょ)を伴っている367語を中心に考察を行う。この367語は形式別に71形式に分類することができるが、以下でこの71形式の語彙数と語形式について詳細に見ていくことにする。

4. 考察結果及び分析

4.1 拗音(ゃ/ゅ/ょ)の語彙数と現れ方

まず拗音「ゃ」「ゅ」「ょ」と組み合わせが可能な仮名を挙げると「き、ぎ、し、じ、

¹⁾ 本稿で山口(2003)を考察資料として取り扱った理由は拗音(ゃ/ゅ/ょ)を伴っているオノマトペの語彙数も多く、また各用例も分かりやすいと思ったからである。

ち、に、ひ、び、び、み、り」がある。それぞれの組み合わせについては〈表1〉のようになる。

〈表1〉拗音(ゃ/ゅ/ょ)と仮名との組み合わせ

仮名 拗音	き	ぎ	し	じ	ち	に	ひ	び	び	み	り
「ゃ」	きゃ	ぎゃ	しゃ	じゃ	ちゃ	にゃ	ひゃ	びゃ	びゃ	みゃ	りゃ
「ゅ」	きゅ	ぎゅ	しゅ	じゅ	ちゅ	にゅ	ひゅ	びゅ	びゅ	みゅ	りゅ
「ょ」	きょ	ぎょ	しよ	じよ	ちよ	にょ	ひょ	びょ	びょ	みょ	りょ

つまり、〈表1〉は拗音「ゃ」「ゅ」「ょ」と仮名との組み合わせを示したものである。これを基にして、今回の調査で見つかったオノマトペの分析結果をまとめると〈表2〉のようになる。

〈表2〉拗音(ゃ/ゅ/ょ)と仮名との組み合わせの語彙数及び現れ方

仮名 拗音	き	ぎ	し	じ	ち	に	ひ	び	び	み	り	計
「ゃ」	きゃ	ぎゃ	しゃ	じゃ	ちゃ	にゃ	ひゃ	びゃ	びゃ	みゃ	りゃ	186 (50.68%)
	6	13	60	22	67	16	2	0	0	0	0	
「ゅ」	きゅ	ぎゅ	しゅ	じゅ	ちゅ	にゅ	ひゅ	びゅ	びゅ	みゅ	りゅ	76 (20.71%)
	7	8	11	11	7	6	10	8	8	0	0	
「ょ」	きょ	ぎょ	しよ	じよ	ちよ	にょ	ひょ	びょ	びょ	みょ	りょ	105 (28.61%)
	9	5	11	4	35	9	19	0	13	0	0	
計	22	26	82	37	109	31	31	8	21	0	0	367 (100.00%)

(表の中の数字は語彙数を表す)

上記の〈表1〉で、拗音「ゃ」「ゅ」「ょ」のそれぞれが現れているオノマトペの語彙数をみると、「ゃ」の場合が186語(50.68%)でもっとも多く、次に「ょ」の場合が105語(28.61%)で、その次に「ゅ」の場合が76語(20.71%)である。このことから、拗音(ゃ/ゅ/ょ)を伴うオノマトペの中で「ゃ」を伴っているものがもっとも多いことがわかった。

また「ゃ」「ゅ」「ょ」の現れ方については、「ゃ」の場合は、「ちゃ」が67例でもっとも多く、次に「しゃ」が60例、「じゃ」が22例、「にゃ」が16例、「ぎゃ」が13例、「きゃ」が6例、「ひゃ」が2例の順に現れている。但し、今回の調査では「びゃ」「びゃ」「みゃ」「りゃ」の例は一例も見つかっていない²⁾。

「ゅ」の場合は、「しゅ」と「じゅ」がそれぞれ11例、次に「ひゅ」が10例、「ぎゅ」

²⁾ 仮名「び」「び」「み」「り」と拗音(ゃ/ゅ/ょ)との組み合わせは元々不可能なわけではない。次の例はオノマトペの例ではないものの、上記の仮名と拗音(ゃ/ゅ/ょ)が組み合わせられたものである。例)「びゃ」:びゃくえ(白衣)、「びゃ」:はっぴゃく(八百)、「みゃ」:みゃく(脈)、「みゅ」:ミュージック(music)、「みょ」:みょうじ(名字)、「りゃ」:りゃくず(略図)、「りゅ」:りゅう(竜)、「りょ」:りょうり(料理)

「びゅ」「ひゅ」が各8例、「きゅ」と「ちゅ」が7例、「にゅ」が6例の順である。しかし「みゅ」「りゅ」の例は見つかっていない。

さらに「ょ」の場合は、「ちょ」が35例でもっとも多く、次に「ひょ」が19例、「びょ」が13例、「しょ」が11例、「きょ」と「にょ」が各9例、「ぎょ」が5例、「じょ」が4例の順に現れている。但し、「びょ」「みょ」「りょ」の例は一例も見つかっていない。

以上の結果から、拗音「ゃ」「ゅ」「ょ」の三つの形式の中で「ちゃ」を伴っている例がもっとも多く、次に「しゃ」、その次に「ちよ」「じゃ」「ひよ」「ぎゃ」の順に現れていることが明らかにされた。その一方、「びゃ」「びょ」「びゃ」、「みゃ」「みゅ」「みよ」、「りゃ」「りゅ」「りよ」を伴うオノマトペは一例も見つかっていないことがわかった。

次に、拗音「ゃ」「ゅ」「ょ」を伴うオノマトペの語彙数と用例を挙げると以下のようになる。なお、()の数字はそれぞれの語彙数を表す。

1) 拗音「ゃ」を伴うオノマトペ

- ①きゃ(6)：きゃー、きゃーきゃー、きやつ、きやつきやつ、きゃん、きゃんきゃん
- ②ぎゃ(13)：ぎゃー、ぎゃーぎゃー、おぎゃ、おぎゃー、おぎゃーおぎゃー、おぎゃおぎゃ、ほぎゃー、ほぎゃーほぎゃー、ふぎゃああ、ぎゃーつ、ぎゃん、ぎゃんぎゃん、ぎゃふん
- ③しゃ(60)：しゃー、がたびしゃ、ぎくしゃく、むしゃくしゃ、いけしゃーしゃー、がしゃがしゃ、くしゃくしゃ、ぐしゃぐしゃ、ごしゃごしゃ、どしゃどしゃ、ばしゃばしゃ、ばしゃばしゃ、びしゃびしゃ、びしゃびしゃ、むしゃむしゃ、もしゃもしゃ、しゃかしゃか、しゃきしゃき、しゃぶしゃぶ、しゃらしゃら、しゃーしゃー、かしゃつ、がしゃつ、くしゃつ、ぐしゃつ、びしゃつ、べしゃつ、ほしゃつ、ほしゃつ、くしゃくしゃつ、しゃつきり、しゃつしゃつ、しゃきつ、しゃりつ、ぐしゃり、びしゃり、びしゃり、べしゃり、ほしゃり、ほしゃり、ぐつしゃり、どんびしゃり、しゃりしゃり、しゃなりしゃなり、がしゃん、くしゃん、ぐしゃん、ばしゃん、ばしゃん、びしゃん、ほしゃん、ほしゃん、しゃん、きりりしゃん、きりりしゃん、ころりんしゃん、ちんとんしゃん、しゃんしゃん、べしゃんこ、ぴんしゃん
- ④じゃ(22)：じゃー、じゃかすか、うじゃうじゃ、ぐじゃぐじゃ、ごじゃごじゃ、ほじゃほじゃ、もじゃもじゃ、じゃかじゃか、じゃぶじゃぶ、じゃぼじゃぼ、じゃらじゃら、じゃーじゃー、じゃりつ、ぐじゃり、じゃりじゃり、じゃりり、がじゃん、じゃん、じゃんじゃん、じゃぼん、じゃらんじゃらん、じゃぼーん
- ⑤ちゃ(67)：かちゃ、がちゃ、しわくちゃ、べちゃくちゃ、べちゃくちゃ、むちゃくちゃ、めちゃくちゃ、いちやいちや、かちやかちや、がちやがちや、ぎちやぎちや、くちやくちや、ぐちやぐちや、ごちやごちや、にちやにちや、ねちやねちや、ばちやばちや、ばちやばちや、びちやびちや、びちやびちや、べちやべちや、べちやべちや、ほちやほちや、ほちやほちや、めちやめちや、ちやかちやか、ちやきちやき、ちやぶちやぶ、ちやぶちやぶ、ちやぼちやぼ、ちやらちやら、かちやつ、がちやつ、びちやつ、びちやつ、ほちやつ、ほちやつ、ちやつかり、ちやつぶちやつぶ、か

ちやり、がちやり、くちやり、ぐちやり、びちやり、びちやり、ぼちやり、ぼちやり、ぽちやり、か
 ちゃん、がちゃん、ばちゃん、ばちゃん、ぴちゃん、ぺちゃん、ぼちゃん、ぼちゃん、ちゃ
 ん、かつちゃん、がっちゃん、ぽっちゃん、どんちゃん、べちゃんこ、ぺっちゃんこ、ちゃぶ
 ん、ちゃぼん、ちゃりん、ちゃりん

⑥にや(16)：くにやくにや、ぐにやぐにや、ふにやふにや、むにやむにや、にやごにやご、にやー
 にやー、にやーごにやーご、にやごーにやごー、ふにやつ、ふにやり、くにやり、ぐにやり、ぐ
 んにやり、ふにやん、にやん、にやんにやん

⑦ひや(2)：びーひやら、ひやらら

⑧びや(0)、⑨びや(0)、⑩みや(0)、⑪りや(0)

2)拗音「ゆ」を伴うオノマトペ

①きゆ(7)：きゆー、きゆーきゆー、きゆっ、きゆっきゆっ、きゆーっ、きゆん、きゆーん

②ぎゆ(8)：ぎゆー、ぎゆーぎゆー、ぎゆっ、ぎゆっぎゆっ、ぎゆーっ、ぎゆん、ぎゆんぎゆん、
 ぎゆーん、

③しゆ(11)：しゆー、ぐしゆぐしゆ、しゆるしゆる、しゆーしゆー、しゆっ、しゆっしゆっ、しゆっぼ
 しゆっぼ、くしゆん、しゆん、しゆんしゆん、しゆーん

④じゆ(11)：じゆー、ぐじゆぐじゆ、じゆくじゆく、じゆわじゆわ、じゆーじゆー、じゆっ、じゆぼっ、
 じゆるっ、じゆわっ、じゆーっ、じゆわーっ

⑤ちゆ(7)：ちゆー、ちゆちゆ、ちゆーちゆー、ちゆっ、ちゆっちゆっ、ちゆんちゆん、ちゆんちゆく

⑥にゆ(6)：にゆー、にゆるにゆる、にゆっ、にゆるっ、にゆーっ、にゆるり

⑦ひゆ(10)：ひゆー、ひゆーどろどろ、ひゆるひゆる、ひゆーひゆー、ひゆっ、ひゆーっ、ひゆん、
 ひゆんひゆん、ひゆーん、ひゆるるーん

⑧びゆ(8)：びゆー、びゆーびゆー、びゆっ、びゆーっ、びゆん、びゆんびゆん、びゆーん、
 びゆーんびゆーん

⑨ぴゆ(8)：ぴゆー、ぴゆーぴゆー、ぴゆっ、ぴゆっぴゆっ、ぴゆーっ、ぴゆん、ぴゆんぴゆん、
 ぴゆーん

⑩みゆ(0)、⑪りゆ(0)

3)拗音「よ」を伴うオノマトペ

①きよ(9)：ほーほけきよ、けつきよ、きよときよと、きよろきよろ、きよろっ、きよろり、きよと
 ん、きよろん

②ぎよ(5)：ぎよろぎよろ、ぎよっ、ぎよろっ、ぎよろり、ぎよろん

③しよ(11)：ぐしよぐしよ、びしよびしよ、しよぼしよぼ、ぐっしより、びっしより、しよりしより、はくしよ
 ん、へっくしよん、しよんぼり、しよんぼりしよんぼり、しよぼん

④じよ(4)：ぐじよぐじよ、じよきじよき、じよっ、じよりじより

⑤ちよ(35)：すいっちよ、ちよい、うろちよろ、ちよこまか、びーちよほい、ぐちよぐちよ、こちよこ

ちよ、ごちよごちよ、びちよびちよ、ちよいちよい、ちよきちよき、ちよくちよく、ちよこちよこ、ちよびちよび、ちよぼちよぼ、ちよろちよろ、ちよつきり、ちよっこり、ちよっぴり、ちよつきん、ちよっくら、ちよっくらちよいと、ちよこっ、ちよびっ、ちよぼっ、ちよろっ、ちよろりっ、ちよこちよこっ、ちよろり、ちよびりちよびり、ちよん、ちよんちよん、けちよんけちよん、ちよこん、ちよこなん

⑥によ(9)：ぐによ、ごによごによ、によきによき、によろによろ、によつきり、によつき、によきっ、によろっ、によろり

⑦ひよ(19)：ひよい、ぴーひよろ、びんひよろ、うひようひよ、ひよいひよい、ひよこひよこ、ひよろひよろ、ひよっ、ひよっくり、ひよっこり、ひよこっ、ひよろっ、ひよこり、ひよろり、ひよこりひよこり、ひよろりひよろり、ひよんひよん、ひよこん、ひよこんひよこん

⑧びよ(0)：

⑨びよ(13)：びよい、びよいびよい、びよこびよこ、びよっこり、びよっこん、びよいっ、びよこっ、びよこり、びよん、びよんびよん、びよこん、びよーん、びよこんびよこん

⑩みよ(0)、⑪りよ(0)

4.2 拗音(ゃ/ゅ/ょ)が現れる形式

以下で、拗音(ゃ/ゅ/ょ)を伴うオノマトペ(367語/71形式)を型の上から「 $\sim y(\sim y\sim)$ 」「 $\sim yt(\sim y\sim t)$ 」「 $\sim yr(\sim y\sim r)$ 」「 $\sim yn(\sim y\sim n)$ 」の四つの形式に分類して考察を行っている³⁾。

4.2.1 「 $\sim y(\sim y\sim)$ 」形式

この「 $\sim y(\sim y\sim)$ 」形式には「 $\sim y$ 」と「 $\sim y\sim$ 」の他に「 $\sim y\sim y$ 」「 $\sim y\sim y\sim$ 」の形式も含まれている。それぞれの形式の例と語彙数をまとめると以下ようになる。

〈表3〉 「 $\sim y(\sim y\sim)$ 」の形式及び語彙数

順位	形式	例	語彙数	$\sim y(\sim y\sim)$ (151)の中 の割合(%)	$\sim y$ 全体 (367)の中 の割合(%)
1)	$\sim y$				
①	OOy型	おぎゃ、かちゃ	4	2.65	1.09
②	OOOOy型	がたびしゃ、しわくちゃ	2	1.32	0.54
③	O-OOOy型	ほーほけきよ	1	0.66	0.27
④	OtOy型	けつきよ	1	0.66	0.27
⑤	OOtOy型	すいっちよ	1	0.66	0.27
		計	9	5.96	2.45
2)	$\sim y\sim$				

3) 本稿では拗音(ゃ・ゅ・ょ)は「y」、促音(っ)は「t」、撥音(ん)は「n」、仮名「り」は「r」、長音(ー)は「-」で表す。また「 $\sim y(\sim y\sim)$ 」の「 \sim 」は仮名を指し、なお仮名数は「O」で表す。例えば、仮名一文字は「O」、仮名二文字は「OO」、仮名三文字は「OOO」…のように示す。

①	Oy-型	きゃー、しゃー	13	8.61	3.54
②	OyO型	ちよい、ひよい	3	1.99	0.82
③	OOy-型	おぎゃー、ほぎゃー	2	1.32	0.54
④	OOOyO型	うろちよろ、ぎくしゃく	2	1.32	0.54
⑤	O-OyO型	びーひやら、びーひよろ	2	1.32	0.54
⑥	OyOOO型	じゃかすか、ちよこまか	2	1.32	0.54
⑦	OyOO型	ひやらら	1	0.66	0.27
⑧	OOyOO型	ふぎゃああ	1	0.66	0.27
⑨	O-OyOO型	びーちよほい	1	0.66	0.27
⑩	Oy-OOOO型	ひゅーどろどろ	1	0.66	0.27
⑪	OnOyO型	びんひよろ	1	0.66	0.27
		計	29	19.21	7.90
3)	~y~y				
①	OOy反復型	いちゃいちゃ、ばしゃばしゃ	50	33.11	13.62
②	OOyOOy型	べちやくちや、むしゃくしゃ	5	3.31	1.36
③	Oy反復型	ちゅちゅ	1	0.66	0.27
		計	56	37.09	15.26
4)	~y~y~				
①	OyO反復型	きよときよと、ちやらちやら	39	25.83	10.63
②	Oy-反復型	きゃーきゃー、じゅーじゅー	13	8.61	3.54
③	OOy-反復型	おぎゃーおぎゃー、 ほぎゃーほぎゃー	2	1.32	0.54
④	Oy-O反復型	にゃーごにゃーご	1	0.66	0.27
⑤	OyO-反復型	にゃごーにゃごー	1	0.66	0.27
⑥	OOOy-Oy-型	いけしゃーしゃー	1	0.66	0.27
		計	57	37.75	15.53
合計	25形式(35.21%)/71形式(「y」全体)		151	100	41.14

上記の〈表3〉は「~y(~y~)」形式と語彙数を表したものであるが、この種のものは「~y」全体(71形式)のうち25形式(35.21%)で、他の「~yt(~y~t)」「~yr(~y~r)」「~yn(~y~n)」の形式より多く見られていることがわかった。

また「~y(~y~)」形式の「~y」「~y~」「~y~y」「~y~y~」の語彙数をみると、「~y~y~」型が57例(37.75%)、「~y~y」型が56例(37.09%)、「~y~」型が29例(19.21%)、「~y」型が9例(5.96%)見られた。この結果から、「~y(~y~)」形式の場合は「~y~y~」と「~y~y」の語彙数が他の二つより多いことが明らかにされた。

さらに形式別にみると、「~y~y」の「OOy反復型」が50例(33.11%)で一番多く、次に「~y~y~」の「OyO反復型」が39例(25.83%)、「Oy-反復型」と「~y~」の「Oy-型」がそれぞれ13例(8.61%)、また「~y~y」の「OOyOOy型」が5例(3.31%)、「~y」の「OOy型」が4例(2.65%)、「~y~」の「OyO型」が3例(1.99%)

%)…の順に現れている。このことから、「～y」「～y～」「～y～y」「～y～y～」の四つの中で「OOy反復型」の語彙数をもっとも多いことがわかった。

次に「～y(～y～)」形式のそれぞれの例を挙げると以下のようになる。

1) 「～y」形式

- ①OOy型(4)：おぎゃ、かちゃ、がちゃ、ぐによ
- ②OOOOy型(2)：がたびしゃ、しわくちゃ
- ③O-OOOy型(1)：ほーほけきよ
- ④OtOy型(1)：けつきよ
- ⑤OOtOy型(1)：すいっちよ

2) 「～y～」形式

- ①Oy-型(13)：きゃー、ぎゃー、きゅー、ぎゅー、しゃー、じゃー、しゅー、じゅー、ちゅー、にゅー、ひゅー、びゅー、びゅー
- ②OyO型(3)：ちよい、ひよい、ぴよい
- ③OOy-型(2)：おぎゃー、ほぎゃー
- ④OOOyO型(2)：うろちよろ、ぎくしゃく
- ⑤O-OyO型(2)：ぴーひゃら、ぴーひよろ
- ⑥OyOOO型(2)：じゃかすか、ちょこまか
- ⑦OyOO型(1)：ひゃらら
- ⑧OOyOO型(1)：ふぎゃああ
- ⑨O-OyOO型(1)：ぴーちよほい
- ⑩Oy-OOOO型(1)：ひゅーどろどろ
- ⑪OnOyO型(1)：ぴんひよろ

3) 「～y～y」形式

- ①OOy反復型(50)：いちゃいちゃ、うじゃうじゃ、うひょうひよ、おぎゃおぎゃ、がしゃがしゃ、かちゃかちゃ、がちゃがちゃ、ぎちゃぎちゃ、くしゃくしゃ、ぐしゃぐしゃ、ぐじゃぐじゃ、ぐしゅぐしゅ、ぐじゅぐじゅ、ぐしよぐしよ、ぐじよぐじよ、くちやくちゃ、ぐちやくちゃ、ぐちよぐちよ、くにかくにゃ、ぐにかくにゃ、ごしゃごしゃ、ごじゃごじゃ、ごちゃごちゃ、ごちよごちよ、ごちよごちよ、ごによごによ、どしゃどしゃ、にちゃにちゃ、ねちゃねちゃ、ばしゃばしゃ、ばしゃばしゃ、ばちゃばちゃ、ばちゃばちゃ、びしゃびしゃ、びしゃびしゃ、びしよびしよ、びちゃびちゃ、びちゃびちゃ、びちよびちよ、ふにゃふにゃ、べちゃべちゃ、べちゃべちゃ、ぼじゃぼじゃ、ぼちゃぼちゃ、ぼちゃぼちゃ、むしゃむしゃ、むにゃむにゃ、めちゃめちゃ、もしゃもしゃ、もちゃもちゃ
- ②OOyOOy型(5)：べちやくちゃ、べちやくちゃ、むしゃくしゃ、むちやくちゃ、めちやくちゃ
- ③Oy反復型(1)：ちゅちゅ

4) 「～y～y～」形式

- ①OyO反復型(39)：きよときよと、きよろきよろ、ぎよろぎよろ、しゃかしゃか、じゃかじゃか、しゃき

しゃき、しゃぶしゃぶ、じゃぶじゃぶ、じゃぼじゃぼ、しゃらしゃら、じゃらじゃら、じゅくじゅく、しゅるしゅる、じゅわじゅわ、じよきじよき、しよぼしよぼ、ちゃかちゃか、ちゃきちゃき、ちゃぶちゃぶ、ちゃぶちゃぶ、ちゃぼちゃぼ、ちゃらちゃら、ちよいちよい、ちよきちよき、ちよくちよく、ちよこちよこ、ちよびちよび、ちよぼちよぼ、ちよろちよろ、にやごにやご、にゆるにゆる、によきによき、によろによろ、ひゆるひゆる、ひよいひよい、ぴよいぴよい、ひよこひよこ、ぴよこぴよこ、ひよろひよろ

- ②Oy-反復型(13)：きゃーきゃー、ぎゃーぎゃー、きゅーきゅー、ぎゅーぎゅー、しゃーしゃー、じゃーじゃー、しゅーしゅー、じゅーじゅー、ちゅーちゅー、にゃーにゃー、ひゅーひゅー、びゅーびゅー、ぴゅーぴゅー
- ③OOy-反復型(2)：おぎゃーおぎゃー、ほぎゃーほぎゃー
- ④Oy-O反復型(1)：にゃーごにゃーご
- ⑤OyO-反復型(1)：にゃごーにゃごー
- ⑥OOOy-Oy-型(1)：いけしゃーしゃー

4.2.2 「～yt(～y～t)」形式

この「～yt(～y～t)」形式はさらに「～yt(～yt～yt)」「～yt～(～yt～yt～)」
「～y～t」に分けられるが、以下では「～yt(～yt～yt)」は「～yt」で、「～yt～(～yt～yt～)」は「～yt～」で示すことにする。

それぞれの形式の例と語彙数をまとめると以下の〈表4〉のようになる。

〈表4〉 「～yt(～y～t)」形式及び語彙数⁴⁾

順位	形式	例	語彙数	～yt(～y～t) (82)の中の 割合(%)	「y」全体 (367)の中の 割合(%)
1)	～yt				
①	OOyt型	びしゃっ、ぼちゃっ	15	18.29	4.09
②	Oyt型	ぎゅっ、びゅっ	12	14.63	3.27
③	Oyt反復型	ぎゅっぎゅっ、 ちゅっちゅっ	7	8.54	1.91
④	OOyOOyt型	くしゃくしゃ	1	1.22	0.27
		計	35	42.68	9.54
2)	～yt～				
①	OytOr型	ちよっぴり、ひよっこり	9	10.98	2.45
②	OytO反復型	しゅっぼしゅっぼ、 ちゃっぶちゃっぶ	2	2.44	0.54
③	OytOn型	ちよっきん、ぴよっこん	2	2.44	0.54
④	OytO型	によつき	1	1.22	0.27

4) 上記の〈表4〉は金(2011:47-48)の〈表4〉を若干修正したものである。

⑤	OytOO型	ちよつくら	1	1.22	0.27
⑥	OytOOOyOO型	ちよつくらちよいと	1	1.22	0.27
		計	16	19.51	4.36
3)	~y~t				
①	OyOt型	によろっ、ひよろっ	20	24.39	5.45
②	Oy-t型	ぎゅーっ、じゅーっ	8	9.76	2.18
③	OyO-t型	じゅわーっ	1	1.22	0.27
④	OyOOt型	ちよろりっ	1	1.22	0.27
⑤	OyOOyOt型	ちよこちよこっ	1	1.22	0.27
		計	31	37.80	8.45
合計	15形式(21.13%)/71形式(「y」全体)		82	100	22.34

上記の〈表4〉は「~yt(~y~t)」形式とそれぞれの語彙数を示したものである。この形式は「~y」全体の71形式のうち15形式(21.13%)で、「~y(~y~)」 「~yt(~y~t)」 「~yr(~y~r)」 「~yn(~y~n)」の四つの中で三番目に多く現れている。

また「~yt(~y~t)」形式はさらに「~yt」「~yt~」「~y~t」の三つに分けて考察したが、それぞれの語彙数をみると、「~yt」型が35例(42.68%)でもっとも多く、次に「~y~t」型が31例(37.80%)、その次に「~yt~」型が16例(19.51%)に見られた。つまり、「~yt」「~yt~」「~y~t」の三つの中で「~yt」の語彙数が一番多く現れている。

さらに形式別にみると、「~y~t」の「OyOt型」が20例(24.39%)でもっとも多く、次に「~yt」の「OOyt型」と「Oyt型」がそれぞれ15例(18.29%)と12例(14.63%)、また「~yt~」の「OytOr型」が9例(10.98%)、「~y~t」の「Oy-t型」が8例(9.76%)、「~yt」の「Oyt反復型」が7例(8.54%)、「~yt~」の「OytO反復型」と「OytOn型」が各2例(2.44%)…の順に現れている。この結果から、「~yt(~y~t)」形式では「~y~t」の「OyOt型」の語彙数をもっとも多く、次に「~yt」の「OOyt型」が多いことがわかった。

次に「~yt(~y~t)」形式のそれぞれの例を挙げると以下の通りである。

1) 「~yt」形式

- ①OOyt型(15)：かしやつ、がしやつ、かちやつ、がちやつ、くしやつ、ぐしやつ、びしやつ、びちやつ、びちやつ、ふにやつ、べしやつ、ぼしやつ、ぼしやつ、ぼちやつ、ぼちやつ
- ②Oyt型(12)：きやつ、きゅつ、ぎゅつ、ぎよつ、しゅつ、じゅつ、ちゅつ、にゅつ、ひゅつ、びゅつ、びゅつ、ひよっ
- ③Oyt反復型(7)：きやつきやつ、きゅつきゅつ、ぎゅつぎゅつ、しやつしやつ、しゅつしゅつ、ちゅつちゅつ、びゅつびゅつ

④OOyOOyt型(1)：くしゃくしゃつ

2) 「～yt～」形式

①OytOr型(9)：しゃつきり、ちやつかり、ちよつきり、ちよつこり、ちよつぴり、によつきり、ひよつきり、ひよつこり、ぴよつこり

②OytO反復型(2)：しゅつぼしゅつぼ、ちやつぶちやつぶ

③OytOn型(2)：ちよつきん、ぴよつこん

④OytO型(1)：によつき

⑤OytOO型(1)：ちよつくら

⑥OytOOOyOO型(1)：ちよつくらちよいと

3) 「～y～t」形式

①OyOt型(20)：きよろつ、ぎよろつ、しゃきつ、しゃりつ、じやりつ、じゅぼつ、じゅるつ、じゅわつ、じよりつ、ちよこつ、ちよびつ、ちよぼつ、ちよろつ、にゆるつ、によきつ、によろつ、ぴよいつ、ひよこつ、ぴよこつ、ひよろつ

②Oy-t型(8)：ぎゃーつ、きゅーつ、ぎゅーつ、じゅーつ、にゅーつ、ひゅーつ、びゅーつ、ぴゅーつ

③OyO-t型(1)：じゅわーつ

④OyOOt型(1)：ちよろりつ

⑤OyOOyOt型(1)：ちよちよこつ

4.2.3 「～yr(～y～r)」形式

この「～yr(～y～r)」形式はさらに「～yr(～yr～yr)」 「～y～r(～y～r～y～r)」に分けられるが、以下では「～yr(～yr～yr)」は「～yr」で、また「～y～r(～y～r～y～r)」は「～y～r」で表すことにする。

それぞれの形式の例と語彙数をまとめると以下のようになる。

〈表5〉 「～yr(～y～r)」形式及び語彙数

順位	形式	例	語彙数	～yr(～y～r) (42)の中の 割合(%)	「y」全体 (367)の中の 割合(%)
1)	～yr				
①	OOyr型	かちやり、ぼちやり	18	42.86	4.90
②	OtOyr型	ぐっしやり、びっしより	4	9.52	1.09
③	Oyr反復型	しゃりしゃり、しよりしより	4	9.52	1.09
④	OnOyr型	ぐんにやり	1	2.38	0.27
⑤	OnOOyr型	どんびしやり	1	2.38	0.27
		計	28	66.67	7.63
2)	～y～r				
①	OyOr型	きよろり、じやらり	10	23.81	2.72

②	OyOr反復型	ちよびりちよびり、 ひよろりひよろり	4	9.52	1.09
		計	14	33.33	3.81
合計	7形式(9.86%)/71形式(「y」全体)		42	100	11.44

上記の〈表5〉は「 $\sim yr(\sim y\sim r)$ 」形式と語彙数を表したものであるが、この種のものは「 $\sim y$ 」全体(71形式)のうち7形式(9.86%)で前述した四つの形式の中でもっとも少ない。

また「 $\sim yr(\sim y\sim r)$ 」形式は「 $\sim yr$ 」「 $\sim y\sim r$ 」の二つに分けられるが、それぞれの語彙数をみると、「 $\sim yr$ 」型が28例(66.67%)と「 $\sim y\sim r$ 」型が14例(33.33%)である。

さらに形式別にみると、「 $\sim yr$ 」の「OOyr型」が18例(42.86%)でもっとも多く、次に「 $\sim y\sim r$ 」の「OyOr型」が10例(23.81%)、その次に「 $\sim yr$ 」の「OtOyr型」「Oyr反復型」と「 $\sim y\sim r$ 」の「OyOr反復型」がそれぞれ4例(9.52%)…の順に見られた。このことから、「 $\sim yr(\sim y\sim r)$ 」形式では「 $\sim yr$ 」の「OOyr型」の語彙数をもっとも多いことがわかった。

次に「 $\sim yr(\sim y\sim r)$ 」形式のそれぞれの例を挙げると以下ようになる。

1) 「 $\sim yr(\sim yr\sim yr)$ 」形式

- ①OOyr型(18)：かちやり、がちやり、ぐしやり、ぐじやり、くちやり、ぐちやり、びしやり、びしやり、びちやり、びちやり、ふにやり、べしやり、ぼしやり、ぼしやり、ぼちやり、ぼちやり、くにやり、ぐにやり
- ②OtOyr型(4)：ぐつしやり、ぐつしより、びつしより、ぼつちやり
- ③Oyr反復型(4)：しやりしやり、じやりじやり、しよりしより、じよりじより
- ④OnOyr型(1)：ぐんにやり
- ⑤OnOOyr型(1)：どんびしやり

2) 「 $\sim y\sim r(\sim y\sim r\sim y\sim r)$ 」形式

- ①OyOr型(10)：きよろり、ぎよろり、きよとり、じやらり、ちよろり、にゆるり、によろり、ひよこり、びよこり、ひよろり
- ②OyOr反復型(4)：ちよびりちよびり、ひよこりひよこり、ひよろりひよろり、しゃなりしゃなり

4.2.4 「 $\sim yn(\sim y\sim n)$ 」形式

この「 $\sim yn(\sim y\sim n)$ 」形式はさらに「 $\sim yn(\sim yn\sim yn)$ 」「 $\sim yn\sim(\sim yn\sim yn\sim)$ 」「 $\sim y\sim n(\sim y\sim n\sim y\sim n)$ 」に分けられるが、以下では「 $\sim yn(\sim yn\sim yn)$ 」は「 $\sim yn$ 」、「 $\sim yn\sim(\sim yn\sim yn\sim)$ 」は「 $\sim yn\sim$ 」、「 $\sim y\sim n(\sim y\sim n\sim y\sim n)$ 」は「 $\sim y\sim n$ 」で表すことにする。

それぞれの形式の例と語彙数をまとめると以下の〈表6〉のようになる。

〈表6〉 「 $\sim yn(\sim y\sim n)$ 」形式及び語彙数

順位	形式	例	語彙数	$\sim yn(\sim y\sim n)$ (92)の中の割合(%)	「y」全体(367)の中の割合(%)
1)	$\sim yn$				
①	OOyn型	がしやん、ぺちゃん、	19	20.65	5.18
②	Oyn型	きゃん、しゅん、	14	15.22	3.81
③	Oyn反復型	きゃんきゃん、 ちゅんちゅん	14	15.22	3.81
④	OtOyn型	かつちゃん、ぼっちゃん	3	3.26	0.82
⑤	OnOyn型	どんちゃん、びんしゃん	2	2.17	0.54
⑥	OOOyn型	はくしよん	1	1.09	0.27
⑦	OOOOyn型	きりりしゃん	1	1.09	0.27
⑧	OOOOOyn型	きりきりしゃん	1	1.09	0.27
⑨	OOyn反復型	けちよんけちよん	1	1.09	0.27
⑩	OtOOyn型	へつくしよん	1	1.09	0.27
⑪	OOOnOyn型	ころりんしゃん	1	1.09	0.27
⑫	OnOnOyn型	ちんとんしゃん	1	1.09	0.27
		計	59	64.13	16.08
2)	$\sim yn\sim$				
①	OOynO型	ぺしゃんこ、ぺちゃんこ	2	2.17	0.54
②	OynOr型	しよんぼり	1	1.09	0.27
③	OynOr反復型	しよんぼりしよんぼり	1	1.09	0.27
④	OynOyO型	ちゅんちゅく	1	1.09	0.27
⑤	OtOynO型	ぺっちゃんこ	1	1.09	0.27
		計	6	6.52	1.63
3)	$\sim y\sim n$				
①	OyOn型	きよとん、じゃぼん	12	13.04	3.27
②	Oy-n型	きゅーん、びゅーん	7	7.61	1.91
③	OyOn反復型	じゃらんじゃらん、 ひよこんひよこん	3	3.26	0.82
④	OyO-n型	じゃぼーん、ちゃりーん	2	2.17	0.54
⑤	Oy-n反復型	びゅーんびゅーん	1	1.09	0.27
⑥	OyOOn型	ちよこなん	1	1.09	0.27
⑦	OyOO-n型	ひゅるるーん	1	1.09	0.27
		計	27	29.35	7.36
合計	24形式(33.80%)/71形式(「y」全体)		92	100	25.07

上記の〈表6〉は「 $\sim yn(\sim y\sim n)$ 」形式と語彙数をまとめたものである。この種のものは「 $\sim y$ 」全体(71形式)のうち24形式(33.80%)で、四つの形式のうち「 $\sim y(\sim y\sim)$ 」の

次に多く現れている。

また「～yn(～y～n)」形式の「～yn」「～yn～」 「～y～n」の語彙数をみると、「～yn」型が59例(64.13%)でもっとも多く、次に「～y～n」型が27例(29.35%)、その次に「～yn～」型が6例(6.52%)である。この結果から、「～yn(～y～n)」形式では「～yn」型の語彙数が一番多く現れていることがわかった。

さらに形式別にみると、「～yn」の「OOyn型」が19例(20.65%)でもっとも多く、次に「～yn」の「Oyn型」と「Oyn反復型」が各14例(15.22%)、その次に「～y～n」の「OyOn型」と「Oy-n型」が12例(13.04%)と7例(7.61%)、「～yn」の「OtOyn型」と「～y～n」の「OyOn反復型」がそれぞれ3例(3.26%)・・・の順に見られた。このことから、「～yn」「～yn～」 「～y～n」の三つの中で「～yn」の「OOyn型」の語彙数をもっとも多いことがわかった。

次に「～yn(～y～n)」形式のそれぞれの例を挙げると以下の通りである。

1) 「～yn」形式

- ①OOyn型(19)：がしゃん、がじゃん、かちゃん、がちゃん、くしゃん、ぐしゃん、くしゅん、ばしゃん、ばしゅん、ばちゃん、ばしゅん、ぴしゃん、ぴちゃん、ふにゃん、ぺちゃん、ぼしゃん、ぼしゅん、ぼちゃん、ぼしゅん
- ②Oyn型(14)：きゃん、ぎゃん、きゅん、ぎゅん、しゃん、じゃん、しゅん、ちゃん、ちよん、にゃん、ひゅん、びゅん、ぴゅん、ぴよん
- ③Oyn反復型(14)：きゃんきゃん、ぎゃんぎゃん、ぎゅんぎゅん、しゃんしゃん、じゃんじゃん、しゅんしゅん、ちゅんちゅん、ちよんちよん、にゃんにゃん、ひゅんひゅん、びゅんびゅん、ぴゅんぴゅん、ひよんひよん、ぴよんぴよん
- ④OtOyn型(3)：かっちゃん、がっちゃん、ぼっちゃん
- ⑤OnOyn型(2)：どんちゃん、ぴんしゃん
- ⑥OOOyn型(1)：はくしよん
- ⑦OOOOyn型(1)：きりりしゃん
- ⑧OOOOOyn型(1)：きりきりしゃん
- ⑨OOyn反復型(1)：けちよんけちよん
- ⑩OtOOyn型(1)：へっくしよん
- ⑪OOOnOyn型(1)：ころりんしゃん
- ⑫OnOnOyn型(1)：ちんとんしゃん

2) 「～yn～」形式

- ①OOynO型(2)：ぺしゃんこ、ぺちゃんこ
- ②OynOr型(1)：しよんぼり
- ③OynOr反復型(1)：しよんぼりしよんぼり

④OynOyO型(1)：ちゅんちゅく

⑤OtOynO型(1)：べっちゃんこ

3) 「～y～n」形式

①OyOn型(12)：きよとん、きよろん、ぎよろん、ぎゃふん、じゃぼん、しょぼん、ちゃふん、ちゃぼん、ちゃりん、ちょこん、ひよこん、ぴよこん

②Oy-n型(7)：きゅーん、ぎゅーん、しゅーん、ひゅーん、びゅーん、ぴゅーん、ぴょーん

③OyOn反復型(3)：じゃらんじゃらん、ひよこんひよこん、ぴよこんぴよこん

④OyO-n型(2)：じゃぼーん、ちゃりーん

⑤Oy-n反復型(1)：びゅーんびゅーん

⑥OyOOOn型(1)：ちょこなん

⑦OyOO-n型(1)：ひゅるるーん

5. まとめ

以上、拗音(ゃ/ゅ/ょ)を伴っている367語のオノマトペを中心に、「ゃ」「ゅ」「ょ」のそれぞれが現れているオノマトペの語彙数及び現れ方と、367語(71形式)を基にして分類した「～y(～y～)」「～yt(～y～t)」「～yr(～y～r)」「～yn(～y～n)」の四つの形式について考察を行った。その結果をまとめると以下のようになる。

第一に、「ゃ」「ゅ」「ょ」のそれぞれの語彙数については、「ゃ」が186語(50.6%)、「ょ」が105語(28.61%)、「ゅ」が76語(20.71%)で、「ゃ」を伴っているオノマトペがもっとも多い。

第二に、「ゃ」「ゅ」「ょ」の現れ方については、「ゃ」「ゅ」「ょ」の三つの中で「ちゃ」(67例)の例がもっとも多く、次に「しゃ」(60例)、その次に「ちょ」35例、「じゃ」(22例)、「ひよ」が19例、「にゃ」(16例)・・・の順に現れている。

第三に、四つの形式と各形式が占める割合については、「～y(～y～)」は25形式で35.21%、「～yt(～y～t)」は15形式で21.13%、「～yr(～y～r)」は7形式で9.86%、「～yn(～y～n)」は24形式で33.80%で、「～y(～y～)」形式の例がもっとも多く見られた。

また、形式別には、71形式の中で「～y～y」の「OOy反復型」が50例(33.11%)でもっとも多く、次に「～y～y～」の「OyO反復型」が39例(25.83%)、その次に「～y～t」の「OyOt型」が20例(24.39%)、「～yn」の「OOyn型」が19例(20.65%)、「～yr」の「OOyr型」が18例(42.86%)・・・の順に現れている。

【参考文献】

- 秋元美晴(2007)「日本語教育におけるオノマトペの位置づけ」『日本語学』26(7) 明治書院
- 有賀千佳子(2007)「オノマトペを通して、語彙の学習・教育について考える」『日本語学』26(7) 明治書院
- 李仁淳(2005)「漢語ににおけるオノマトペ-畳語を中心に-」『日語日文学研究』55輯 韓国日語日本学会
- 伊東真美(2007)「日本語と韓国語のオノマトペの音韻的・形態的比較-その動詞化形の比較を中心に-」『東アジア日本語教育・日本文化研究』10 東アジア日本語教育・日本文化研究学会
- 石黒圭(2008)「オノマトペとは」『国文学』第53巻 14号
- 葛西明香(2007)「日本語教育における「擬音語・擬態語」に関する授業の実践報告」『拓殖大学日本語紀要』17
- 角岡賢一(2007)『日本語オノマトペ語彙における形態的・音韻的体系性について』くろしお出版
- 金昌男(2011)「日本語の促音(っ)と撥音(ん)を伴うオノマトペの形態」『日本文化学報』第49輯 韓国日本文化学会
- 康順正(1999)「日韓両語におけるオノマトペの対照考察-形態の対立に伴う語感と意味分野を中心に-」『言語と交流』2 言語と交流研究会
- 崔聖坤(2005)「日本語オノマトペと助詞との関係性について」『日語日文学研究』第56輯 韓国日語日本学会
- 那須昭夫(2008)「新しく生まれるオノマトペ-新造語の音韻特徴-」『国文学:解釈と教材の研究』第53巻 14号
- 田守育啓(2008)「オノマトペの体系性」『国文学』第53巻 14号
- 中里理子(2008)「漢語系オノマトペをどう考えるか」『国文学』第53巻 14号
- 松本隆(2006)「日本語と韓国語の類似したオノマトペ-音と意味の有縁性と恣意性をめぐって-」『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要』29
- 三上京子(2007)「日本語教材とオノマトペ」『日本語学』26(7) 明治書院
- 峯正志(2007)「オノマトペの様態副詞における助詞の有無」『金沢大学留学生センター紀要』10
- 守山恵子(2006)「日本語中級レベルの教科書に見られるオノマトペ」『長崎大学留学生センター紀要』14
- 山口仲美(2003)『暮らしのことは擬音・擬態語辞典』講談社

要 旨

本稿では、山口(2003)『暮らしのことは擬音・擬態語辞典』に載せられている2,033語の中から拗音(ゃ/ゅ/ょ)を伴っている367語を71形式に分類して考察を行った。なお、考察においては71形式をさらに「 $\sim y(\sim y\sim)$ 」「 $\sim yt(\sim y\sim t)$ 」「 $\sim yr(\sim y\sim r)$ 」「 $\sim yn(\sim y\sim n)$ 」の四つのグループに分けて考察した。その結果、以下のことが明らかにされた。

第一に、「ゃ」「ゅ」「ょ」の語彙数については、「ゃ」が186語(50.68%)、「ょ」が105語(28.61%)、「ゅ」が76語(20.71%)で、「ゃ」を伴っているものも最も多い。

第二に、「ゃ」「ゅ」「ょ」の現れ方については、「ゃ」「ゅ」「ょ」の三つの中で「ちゃ」(67例)の例がもっとも多く、次に「しゃ」(60例)、その次に「ちょ」35例、「じゃ」(22例)、「ひょ」が19例、「にゃ」(16例)……の順に現れている。

第三に、「 $\sim y(\sim y\sim)$ 」「 $\sim yt(\sim y\sim t)$ 」「 $\sim yr(\sim y\sim r)$ 」「 $\sim yn(\sim y\sim n)$ 」の四つの各形式が占める割合については、「 $\sim y(\sim y\sim)$ 」は25形式で35.21%、「 $\sim yt(\sim y\sim t)$ 」は15形式で21.13%、「 $\sim yr(\sim y\sim r)$ 」は7形式で9.86%、「 $\sim yn(\sim y\sim n)$ 」は24形式で33.80%で、「 $\sim y(\sim y\sim)$ 」形式がもっとも多く現れている。

さらに、形式別にみると、71形式の中で「 $\sim y\sim y$ 」の「OOy反復型」が50例(33.11%)でもっとも多く、次に「 $\sim y\sim y\sim$ 」の「OyO反復型」が39例(25.83%)、その次に「 $\sim y\sim t$ 」の「OyOt型」が20例(24.39%)、「 $\sim yn$ 」の「OOyn型」が19例(20.65%)、「 $\sim yr$ 」の「OOyr型」が18例(42.86%)……の順に現れている。

上記の結果から、拗音「ゃ」「ゅ」「ょ」の中で「ゃ」の例がもっとも多く、また形式別には「 $\sim y\sim y$ 」の「OOy反復型」の例がもっとも多いことがわかった。

以上、今回は現代日本語のオノマトペの形態的な特徴について考察したが、今後はオノマトペの時代別の変遷について考察を行いたい。なお、研究範囲も長音(ー)を伴うもの、仮名「り」を伴うもの、反復型のものに広げていきたい。

キーワード：拗音、形式、語彙数、促音、撥音、清音、濁音、反復型

투 고 : 2011. 8. 31
1차 심사 : 2011. 9. 10
2차 심사 : 2011. 10. 1